

第52回京都大学宇治キャンパス産学交流会

< 防災研究所 >

◆日時 2024年12月4日(水) 13:30~17:00

◆場所 防災研究所 連携研究棟3階 会議室301号



京都大学宇治キャンパスにある4つの研究所(エネルギー理工学、生存圏、防災、化学)との産学連携や参加企業間の業種の垣根を越えた連携を目的に開催しています。今回は防災研究所との交流会です。参加は無料です。

《第1部:講演会》

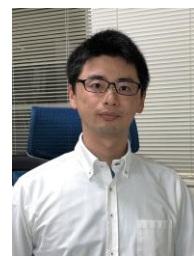
◇ 開会のご挨拶 13:30~13:40

◇ 研究シーズ (質疑応答含む) 13:40~15:40

「揺れやすさを調べる」

京都大学 防災研究所 准教授 長嶋 史明 氏

地震大国日本ではいかに地震に備えるかが重要です。過不足なく備えるためには地震が起きた際にどのような揺れが生じてどの程度の被害が発生するかを見積もる必要があります。この講演では、場所毎に異なる地盤の揺れやすさを反映した被害予測を目標として、地震動への寄与が大きい地盤構造の調査方法や地盤の揺れやすさについて解説します。



「被災地域のなりわい再建に向けて」

京都大学 防災研究所 特定教授 松島 格也 氏

今年1月に発生した能登半島地震は人々の生活に大きな被害をもたらしましたが、被災した地域の人々は生活の基盤であるなりわいの再建に関しても大きな困難に直面しています。この講演では、これまでの被災事例を参考にしながら、持続可能ななりわい再建のためにはどのようなことに取り組めばよいのかについて紹介します。



◇ 関連企業紹介 (質疑応答含む) 15:50~16:30

「水道管路の地震被害研究と防災継手の開発」

日本ニューロン株式会社 代表取締役 岩本 泰一 氏

能登半島地震では水道管路に多くの被害を生じました。水道管の変形を防止する部品の一つに伸縮可とう管があります。本講演では当社の運営する管路防災研究所の取り組みとして、地震被害の現地調査や分析を通して伸縮可とう管の防災性能向上に向けた開発事例を紹介します。



◇ 施設見学 16:30~17:00

強震応答・耐震構造実験室

《第2部:懇親会》 参加費制 カフェレストランきはだ(宇治キャンパス内) 17:00~18:40

- ◆主催 京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業 21
- ◆共催 京都大学防災研究所・京都やましろ企業オンリーワン倶楽部
- ◆協力 宇治市

参加申込書

第52回京都大学宇治キャンパス産学交流会(12月4日(水)開催)

【WEB 申し込み】 京都府中小企業技術センターホームページ TOP ページ
「第52回京都大学宇治キャンパス産学交流会」より

【E-mail/FAX での申し込み】

E-mail: keihanna@kptc.jp / FAX:0774-66-7546

【締め切り】 12月2日(月)(先着50名)

【参加費】第1部:無料/第2部:企業連絡会員2000円・会員外5000円(講演会受付時に徴収)

*ご記入いただいた個人情報は開催者で共有するとともにイベント等のご案内に利用することがあります

会社名				
所在地	〒			
氏名	所属	電話番号	E-mail	参加(○印)
				1部・2部
				1部・2部
				1部・2部

☐ ← 交流会で配付する参加者名簿(所属・氏名)への掲載を希望されない場合はチェック ☒ をお願いします。

- 公共交通機関の利用にご協力ください。(お車の場合は 南門(守衛室)での駐車手続きが必要です)
- 講演会場は防災研究所連携研究棟 3 階 会議室301号

